

## 市民における男女共同参画講演会

# 男女共同参画でつくる元気な社会

講師 安田女子大学教授 川瀬 啓子さん

2月14日（土）三原市市民福祉会館で「男女共同参画でつくる元気な社会」と題して、市民における男女共同参画講演会をみはらウィメンズネットワークの企画で開催しました。講師には、川瀬啓子 安田女子大学教授（広島県男女共同参画審議会会長）をお招きしました。

川瀬先生は、「日本女性会議2007ひろしま」の共同実行委員長として、市民主導で大会を成功に導いた実績が認められ、平成20年度男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰を受賞されました。男女共同参画社会とは、「男女が、互いの違いを認め合い、互いに人権を尊重しながら、その個性と能力を十分に発揮し、社会のあらゆる分野において共に参画し、責任も分かち合うことのできる社会」です。

統計資料をもとに出生率（少子化）の問題を話され、若い人が安心して子どもを育てることのできる社会づくりの大切さに加え、市民一人ひとりが、互いに男女共同参画の視点で考え、生活を豊かにしていくことが重要であるということ、講演会参加者で共有することができ、意義深い講演会となりました。

講演の最後に川瀬先生から「未来のために、わたしたちもできることを!!」とメッセージを頂きました。私たちは社会で起きている問題を身近なところで起きている問題としてとらえ直す必要があります。例えば「仕事と生活のバランスの見直し」や「配偶者への暴力（DV）の防止」について自分で考えたり、家族や知人友人と話し合ってみてはいかがでしょうか。



## 三原市男女共同参画推進本部会議を開催しました

三原市では、男女共同参画社会の実現に関する施策を、総合的かつ体系的に推進するため“三原市男女共同参画推進本部”を設けています。本年度は副市長を本部長とする推進本部会議と、教育次長を委員長とする推進委員会を開催しました。

会議では、平成19(2007)年3月に策定された「男女共同参画プラン」の各課における進捗状況を点検・評価しました。環境づくりや社会づくりの施策項目は推進されつつありますが、審議会等における女性の参画はなかなか目標値にとどいていません。

そこで、よりいっそう男女共同参画の視点をいれた施策を各課で推進すること、数値目標達成のための検討等を部単位でも行うことで協議が整いました。



# ★キラリスト ちよっと 聞かして!

今回のキラリストは、認知症の実母の介護経験があり、平成20年7月から、「三原市認知症の人と家族の会」の代表をしておられる末盛征壮さんをご紹介します。お会いしてすぐに、「人は、人の顔を見て話してこそ、心が通う」という言葉が、とても印象的でした。

平成14年3月まで、大阪でサラリーマン生活を送る傍らで、好きなソフトボールで汗を流し、全国大会出場という経歴の持ち主です。ずっと共働きで、家事分担も自主的に行い、介護に関しても、「今の自分があるのは、親のおかげ。自分の親を看るのは当然のこと。」と、同年4月定年を期に、実母の介護のため家族を大阪に残し、単身で久井町に帰省されました。兄弟や、地域の人に温かく迎えられ、脳血管症の実母を在宅介護されました。初めは認知症のことがわからず、想像を絶する光景に怒ったり、声を荒げたりしたこともあったそうですが、講習会に参加し、関連著書を読み、少

しずつ理解ができるようになってから、「笑顔を心がけた」そうです。

その間、「三原市認知症の人と家族の会」に参加し、愚痴を吐き出し、アドバイスをもらい、とても助けてもらった経験のある末盛さんは、「少しでも自分の経験が役に立ち、介護者の心が軽くなるのなら、どこへでも出向きます。」と力強く語られました。「人」との関わりを大切にされる末盛さんは、深刻化する高齢社会への応援団として、温かくキラキラと輝いておられました。



すえもり せいそう  
**末盛 征壮 さん**

●プロフィール  
三原市認知症の人と  
家族の会代表  
民生委員児童委員

## 今後の計画づくりと実行は市民全員で!

三原市では、政策形成過程の透明性と市民参画の促進を図るため、平成21(2009)年1月1日発行の「広報みはら」において、「市民協働のまちづくり推進計画」「農業振興ビジョン」の策定、「総合保健福祉計画」として一体的に整備する「障害者プラン」の見直しに伴い、3つの計画案を公表し、1月5日(月)から1月30日(金)までの間、パブリックコメント(市民意見公募)で意見を募集しました。

その中の「障害者プラン」の見直しについては、作業部会としてのワーキング会議の構成員を、顔の見えるネットワークとして組織した三原市地域自立支援協議会の中の「障害者プラン策定専門部会」のメンバーが兼ね、ともに検討を進めました。また、当事者や家族等へのニーズ調査の実施、障害者支援施設(事業所)や当事者団体との意見交換会をする中で、できるだけニーズに即した計画となるよう素案を策定しました。その後、パブリックコメントで意見募集を行い、その意見を踏まえたう

えて「障害者プラン」が完成する運びとなりました。

また男女共同参画については、平成19(2007)年3月に策定された「三原市男女共同参画プラン」の実行にあたって、前回の「with YOU」において、市民全体で取り組んでいくという“想い”をもった三原市の姿勢をお伝えしてきました。市民が一体となって男女共同参画のもと計画づくりから計画実行まで遂行し、“協働のまちづくり”を市民一人ひとりが実感できる“まち”になることを願っています。

**\*「パブリックコメント手続き制度」とは、政策案の段階で市民の皆さまからのご意見をいただき、それに対する市の考え方を公表していくことで、政策形成過程の透明性と市民参画の促進を図るものです。**

平成21(2009)年1月1日発行「広報みはら」参考に改変